

初めての植物観察覚書・夏編 R.3年7月17日開催

この日は、梅雨の終わりで暑さも厳しくなってきましたが、皆さん元気に観察会に参加いただきました。この日も、コロナ対策で二班に分け、時間をずらしての観察会となりました。ルートが異なりますので、順不同になりますが、この日観察したものを徒然に書かせていただきます。

オニユリ：田中節子さんから解説をいただきました。ユリの仲間には珍しく、ムカゴをつけているのが特徴でした。皆さんムカゴと言えばヤマノイモを連想したようですが、ユリにもムカゴがつくのです。

ムクゲ：この日もムクゲの観察をしました。雌薬の花柱の周りに雄薬がついているのがハイビスカスの仲間の特徴です。小川彰子さんから解説いただきました。

ヨツバムグラ：アカネ科の植物で小さな白い花をつけていました。一節に4枚の葉をつけていましたが、その内の2枚は托葉というものです。

ウバユリ：ユリの仲間です。山の中の薄暗いところにはえています。

ムラサキニガナ：背の高いキク科の植物で、タンポポのグループに近い物というお話をしました。花びらの先が5つに裂けていましたね。そして、一枚の花びらに見えるのが、実際は一つの花でした。

ヤブマオ：この植物を使って互生、対生の話をしました。長岡さんから葉っぱを鳴らす方法を教えていただきました。ポンと良い音がしましたね。

ミツバ：日本が生んだハーブですが、子供達には今ひとつピンとこない感じでした・・・。

コクサギ：ミカンの仲間で、葉っぱを揉むと臭いのですが、これまた子供達にはピンとこないかんじでしたね～。あまり臭くなかったかな？



オニユリの解説



フヨウの単体雄薬



フヨウの萼と副萼



フヨウの葉



ムクゲの葉



ヨツバムグラ



ウバユリ



ヤブマオの観察

第二班

この班は、河原に向かいました。森の中とは随分違う物が見られました。外来種が多いのに驚きましたね。

ヒナギキョウ：キキョウの仲間の可憐な植物です。この他に、ヒナキキョウソウやキキョウソウなどもありますが、ヒナギキョウはひよろひよろした感じですよ。

カヤツリグサ：橋の上で見つけて、みんなで蚊帳吊り遊びをしました。なかなかうまくいかなかったですが。

メリケンガヤツリ：カヤツリグサ科の植物です。原産地は熱帯アメリカでした。とてもたくさんの花の集まりでした。茎をコロコロとしてみても三角形なのはカヤツリグサの仲間でしたね。

タチスズメヒエ：これも南米原産の外来植物です。イネ科でしたね。

アレチハナガサ：クマツヅラ科で南米原産の外来種です。ルーペで花を見たら綺麗だったなあ。

オオキンケイギク：こちらは北米原産の外来種。特定外来生物に指定されていて栽培が禁止されているという話をしました。

ナルトサワギク：これも外来種。東アフリカ原産です。そしてこれも特定外来生物。

マメグンバイナズナ：この植物を使って、アブラナ科の長角果、短角果の話をしました。これも外来種。

メハジキ：これは日本の物です。名前の由来は、茎を目で飛ばすからという話ですが、本当でしょうか？

カナムグラ：アサ科の植物です。ツルになっていて、茎がざらざらでした。ビールの材料になるホップの親戚です(カラハナソウはホップの変種でした)。これでビールができるかどうか？

ヤブジラミ：花序の形が複傘形花序になっています(集散花序とってしまいましたが間違いです。よく間違いです)。セリの仲間は多くは傘形花序をもちます。よく似たオヤブジラミは、全体に紫がかったいます。

ツルヨシ：ヨシに似ていますが、長いツル(匍匐茎)を出すのが特徴です。

ツタ：橋のたもとでツタの吸盤を観察しました。あの吸盤は根であって、付着根と言うそうです。先端の吸盤から粘液を出してくっつくようです。

この他に、トキワハゼ、ユウゲショウ、アキニレなども見られました。



ヒナギキョウ



河原に降りる



メリケンガヤツリ



メハジキ

写真撮影：豊谷千幸さん

この覚書では、初めての植物観察で見られた植物について、備忘録的に記録に止めています。プリント版は、博物館3階にて茨木までお申し出いただければお渡しできます。また、同じものをホームページ <http://museum.tokushima-cc.ed.jp/ibaraki/index.html> 上からダウンロードいただけます。なお、この行事では、中級クラス植物観察会他の皆さんに解説その他ご協力を頂いています。ここに記してお礼申し上げます。

お問い合わせは以下まで。

〒770-8070 徳島県徳島市八万町徳島県立博物館 Tel 088-668-3636 Fax 088-668-7197

茨木靖(いばらぎやすし) ibaragi_yasushi_1@bunmori.tokushima.jp

徳島県立博物館では、学芸員は交代勤務ですので年末年始以外は、誰かが居ります。植物については私が不在の場合、小川自然課長がいれば、ご質問にお答えできます。お気軽に博物館にご連絡ください。メールも大歓迎です。